



小学校で習う5つの領域の「正しい動き」「つまずき例」「練習方法」が動画でわかる「つまずき解決法」コンテンツをはじめとして、子どもの主体的・協働的学習や先生の指導を効果的にフォローする機能・コンテンツを豊富に収録しています。

「つまずき解決法」動画で、理解が深まる！



東京都世田谷区
烏山小学校
江口先生・明官先生
新田先生

メニュー画面は、マットや跳び箱など技のカテゴリーごとに動画が表示されているので、子どもにもわかりやすく、自分に必要な技を選択しやすいインターフェイスになっていると思います。私は自分ではマット運動や跳び箱といった器械運動ができないのですが、代わりにデジ体の先生の完璧な演技を繰り返し見せることができるのでとても助かっています。動画の再生速度も、コマ送りやスロー再生など数種類用意されていてありがたいです。「つまずき解決法」の動画もとてもわかりやすいです。つまずきのポイントや気を付けるポイントを、テキストと映像の両方で表示してくれるので、より理解しやすくなっていると思います。

デジ体で動画の撮影・保存もできるので、各班やペアでタブレットを持たせてお互いに自分の動きを撮影してもらい、お手本動画と見比べてみることもあります。

担任では見せられない体の動かし方のポイントがよくわかり、子どもたちも自分の苦手ポイントに気づけたり意欲的に学んだりでき、充実した体育の時間となっています。



見本とつまずきの比較

子どもがおちいりがちな代表的なつまずき例を確認し、「なぜそうなるのか？」を理解します。その後、つまずきに合った練習例（解決法）を実践します。



つまずきに合った練習例

「見本動画」① 新しい技の確認に！



東京都東村山市
野火止小学校
福井先生

跳び箱の授業では、子どもたちがそれぞれ選んだ技に取り組ませました。1時間の授業の中で新しい技に挑戦する子もいたので、デジ体の先生の動画を見ながら、「新しい技をやる時にはこのデジ体でやり方を確認してからやろうね」と予め子どもたちと共有・確認して進めました。特に体育が得意な子は、私が体育の苦手な子どもたちにずっと付きっきりでも、積極的に自分たちで適切な動画を引っ張ってきて確認して進めていました。その分私が、できない子たちや苦手な子たちへ個々にアプローチしてサポートがしやすくなったというのは取り組んでいて強く感じました。

また、使用する機器の仕様によっては、カメラで自分たちの動きを撮影・保存できる点もいいと思います。別の機器で撮影した映像を、デジ体の見本動画と並べて見比べるという使い方もできますよね。子どもたちも自分の課題を把握しやすいと思います。



撮影した動画は、種目ごとにフォルダ分けができるようになっています。

「見本動画」② 技のイメージアップに！



東京都東村山市
野火止小学校
野間先生

体育の動きって静止画だけではなくイメージがつかない部分があると思うのですが、デジ体を使えば、映像で見ることができるので、「こんな風にやればいいんだ」と子どもたちがそれぞれの技のイメージをきちんと持った状態で取り組めるようになったなと思います。技の見本はもちろん、特につまずきの動画がいいなと。つまずきのポイントを、技の流れの中で順序立てて並べてくれるので、子どももとてもわかりやすく、主体的に学ぶきっかけになっているなと思います。つまずきに合った練習法も提示してくれるので、できなかった技を動画を見て練習していたらできるようになって喜んでいました。

また、それぞれの技が系統立てて紹介されているので、Aの技の発展技がB、といった関連性がわかりやすく、子どもたちも理解しながら取り組んでいました。